

札幌地域における野菜の入荷量及び卸売価格の見通し

平成26年4月30日
農林水産省生産局農産部園芸作物課
電話 03-3502-8111 (内線 4822)

対象年月：平成26年5月
対象市場：札幌市中央卸売市場

【4月の経過（実績見込み）】

① 入荷の動向

4月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、四国及び九州もの等が出回った。主要野菜の入荷量は、総じて前年を下回る入荷となった。

「前年を上回った」のは、トマトの1品目である。

「前年並み」は、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、レタスの4品目である。

「前年をやや下回った」のは、ねぎ、ピーマンの2品目である。

「前年を下回った」のは、だいこん、にんじん、きゅうり、なすの4品目である。

「前年をかなり下回った」のは、ばれいしょ、たまねぎの2品目である。

② 価格の動向

このような入荷状況のもとで、4月の野菜価格は、総じて前月平均並みの価格となった。

「前月平均を上回った」のは、ほうれんそうの1品目である。

「前月平均をやや上回った」のは、だいこんの1品目である。

「前月平均並み」は、たまねぎの1品目である。

「前月平均をやや下回った」のは、キャベツ、トマト、ばれいしょの3品目である。

「前月平均を下回った」のは、にんじん、はくさい、レタス、きゅうり、なすの5品目である。

「前月平均をかなり下回った」のは、ねぎの1品目である。

「前月平均を大幅に下回った」のは、ピーマンの1品目である。

【5月の見通し】

① 入荷量の見通し

5月の野菜は、北海道ものを中心に、関東平坦地、近畿及び九州もの等が出回る。野菜の入荷量は、総じて前年をやや上回る入荷が見込まれる。

「前年を上回る」のは、北海道及び茨城県主体のはくさい、茨城県主体のキャベツ、北海道主体のばれいしょの3品目である。

「前年をやや上回る」のは、北海道、茨城県、埼玉県、千葉県及び徳島県主体のにんじんの1品目である。

「前年並み」は、北海道及び茨城県主体のだいこん、北海道主体のほうれんそう、北海道、埼玉県及び千葉県主体のねぎ、北海道主体のレタス、群馬県、千葉県及び宮崎県主体のきゅうり、北海道、長崎県及び熊本県主体のトマト、宮崎県主体のピーマン、北海道及び佐賀県主体のたまねぎの8品目である。

「前年を下回る」のは、高知県及び宮崎県主体のなすの1品目である

② 価格の見通し

このような入荷状況のもとで、5月の野菜価格は、総じて前月平均をやや下回る価格が見込まれる。

「前月平均をかなり上回る」のは、ばれいしょの1品目である。

「前月平均をやや上回る」のは、はくさい、ねぎの2品目である。

「前月平均並み」は、だいこん、にんじん、キャベツ、ほうれんそう、レタス、トマトの6品目である。

「前月平均を下回る」のは、きゅうり、なす、ピーマンの3品目である。

「前月平均をかなり下回る」のは、たまねぎの1品目である。

※ この資料の内容は、4月28日（月）現在で見込んだものであり、気象条件等により変動があり得る。

(参考) 入荷量と卸売価格の見込み

	5月の入荷量			5月の卸売価格			5月の主産県
	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	前月比較	前年比較	5カ年平均比較	
だいこん	○	=	=	=	○	△	茨城(38.5%)、北海道(20.6%)
にんじん	=	○	○	=	=	=	北海道(55.8%)、徳島(23.1%)、埼玉(6.2%)、茨城(5.5%)、千葉(2.7%)
はくさい	○	○	○	○	○	△	茨城(80.1%)、北海道(19.4%)
キャベツ	○	○	○	=	○	△	茨城(87.7%)
ほうれんそう	△	=	△	=	△	=	北海道(97.4%)
ねぎ	=	=	=	○	△	△	北海道(27.7%)、埼玉(22.6%)、千葉(20.5%)
レタス	○	=	=	=	△	=	北海道(73.1%)
きゅうり	○	=	=	△	○	=	宮崎(61.2%)、千葉(18.4%)、群馬(2.4%)
なす	○	△	=	△	=	=	高知(79.6%)、宮崎(11.3%)
トマト	○	=	=	=	○	○	熊本(54.3%)、北海道(25.5%)、長崎(2.5%)
ピーマン	○	=	○	△	=	△	宮崎(81.4%)
ばれいしょ	○	○	○	○	○	=	北海道(88.6%)
たまねぎ	○	=	○	△	○	=	北海道(58.4%)、佐賀(40.7%)

入荷量と卸売価格の符号

符号	入荷量	卸売価格
○	多い	高い
=	同じ	横ばい
△	少ない	安い